

健康づくり	筋力体操に時々行きます。町外には有料のクラブもありますが近くにあっても行けたらと思っています。せめて自転車、ウォークマシーンなら今の訓練室でも置けると思いますが。
	元気な高齢者を作ることで町の出費が減る。地域で行っている運動、体操をもっとたくさんの人にも体験できるように会館で開くのはどうでしょう。
見守り活動	地域をみても高齢化が進んでいると思います。生活道路の整備、近所の見守り体制等が大切になってくると思います。
	近所の人たちに挨拶をしていきたい。高齢者の人とも交流をもて、安否確認につながるのではないかと感じています。小さい事ですが少しずつ取り組みたい。
	子供達は青梅市に住んでいるので何かおこった時近所にとおもいますが、近所も皆さん同じ様子です。1ヶ月に一度位でいいので声をかけてもらえるとうれしいです。
	隣近所との係りが希薄化しなかなか立ち入ることが難しくなっていると感じる。困っているのに助けを求められず月日が経っていく。玄関先に色旗のような目印などを立て援助が必要な時に何かお手伝いをする。
	高齢者が多いので毎日でも見回りを行なってもらいたい。(1人暮らし)
	少子高齢化が進んでしまった地域、老老介護倒れや親子介護倒れが心配です。週に一度位福祉パトロールの様な形で、相談や要望、安否の確認が出来るシステムが出来ないでしょうか。
	1人暮らしの人はとても寂しいのではないかと思います。少しでも外出できるような企画が必要だと思います。又、同時に集うことも計画していただけたらと思います。
	1人暮らしの方に訪問しています。隣近所が離れている為、人が来てくれず、ヘルパー、配食は来ているが、やはりさみしい様です。1日1回でも誰かが訪問して話しをしてくれたらありがたいとおっしゃっていました。
	透析患者さんが増加しているように思うので、施設の確保ができないなら、緊急時のサポートができるようしっかり対策をすべき。
	認知症の方へのサポートとして具体的にどのように声をかけたらよいか、どのように接したらよいかなど簡単なことから啓発していく必要があると思う。
高齢者	高齢者のみならず、40代、50代の単身者であってもいつ病気や、急な事故で生命の危険に陥ることが考えられます。緊急の際の連絡体制の整備が必要。
	以前の雪害などの際、実際に事態にぶつくと互いに助け合って行動することができる。人が苦しんでいるのを気付けば色々な角度から手助けすることができると思う。
	年寄りに対して冷たいと思います。仲間の中には、いずれ青梅の方へ出て、子供達のそばで暮そうと話す人も何人かいます。若い人達だけにではなく年よりも、優しい町になれたらいいですね。
子育て世代	年配の人達はとても暮らしづらいと言っている人が多い。年金が安く介護保険が高すぎるため、日々の生活がやっとならなくてボランティアをしようという意欲はないです。子育て支援は充実して来たので今度はお年寄りにやさしい町づくりをお願いします。
	高齢者、障害者福祉に力を入れる。
	子供達を産み育てる世代の人達への協力・賛助など町と連携して実施されたい。
寄付金	社協の活動は高齢者福祉のイメージが強いです。社協が行っている子育て世代が利用できるサービスがよくわからないので、いつ、どんな時に誰が利用できるのか教えてほしいです。
	一人暮らしの人にもやさしい町づくりを。(外から来た20～30代の人対象)
近所づきあい	年3回の寄付金集めが半強制的。金額が表記されるのは変だと思っています。寄付は気持ちで行うものだと思います。地区毎に金額を競っている様な感があり、いかがなものか。
	募金が強制的で出して当然の様に連絡が来る。本当に弱者の方に行っているのか、何につかわれているのかわからない。
近所づきあい	空家の周りに植物が繁り近所に迷惑をかけています。自治会に言っても家主の住所がわからず困っています。
	近所にも一人暮らしの高齢者の方がいるが、記憶なども衰えていて、ゴミを燃やしたりと火の始末も心配である。近隣の付き合いも穏やかに過ごしたいので、第三者の定期的な見守りや家族などへ現状の問題点を連絡して頂くなどしてもらえると助かる。